



東吾妻町

第 23 号

平成23年11月1日

発行：東吾妻町議会

議会だより



「正々堂々と競技する
ことを誓います」

第50回郡民体育祭
原町中学校校庭で開催されました

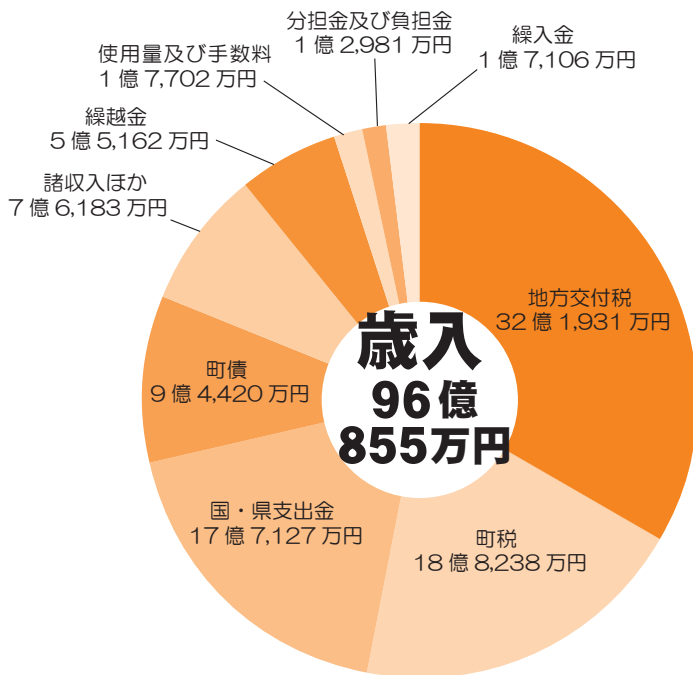
9月定例会

平成22年度決算を認定……………2P
「町内業者の育成について」
など7議員が一般質問……………8P

91億9140万円

9月定例会

決算を認定



歳入(主なもの)

町税

歳入の柱である町税は0.7%の減収でしたが、法人町民税は前々年並みに回復しました。

地方交付税

基準財政収入額(町税)が減額となりましたが、雇用対策地域資源活用臨時特例費が増額となり、前年比9.4%の増加となりました。

平成23年第3回定例会は、9月5日から15日までの11日間の日程で開催されました。今定例会では、平成22年度一般会計・特別会計・事業会計決算のほか、23年度補正予算、条例改正、人権擁護委員候補者の推薦、東吾妻町教育委員会委員の任命についてなど、29件が提出され、原案のとおり可決されました。一般質問は7名が行い、町政をたえました。

全国瞬時警報システムの伝達方法

東吾妻町役場「警報システム」



通信衛星(スーパーバード2)

通信衛星を介して瞬時に役場へ伝達

国で覚知した情報を

防災無線に自動接続・起動し、いち早く情報発信
↓
避難態勢の確立へ

防災行政無線



総務省消防庁



地震

噴火



完成した原町小学校体育館

一般会計決算

監査報告

平成22年度一般会計・特別会計・事業会計の決算審査の結果、計数については正確であり、予算の執行は概ね適正かつ効率的に執行されていること、会計経理事務及び財産に関する事務は適正に処理されていることを確認しました。

一般会計への審査意見

歳入では、自主財源の確保、住民負担の公平性を期する観点から、関係法令に基づき、滞納額、収入未済、不納欠損等の解消に努めていただくこと。

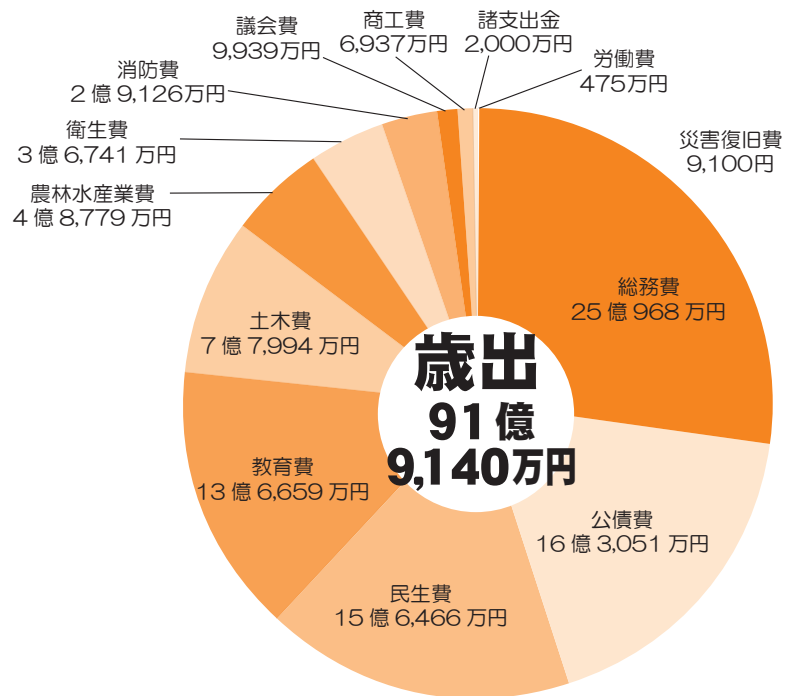
歳出では、事業執行に当たり、進捗管理を行って予算の適正執行に努めるということ。それによって不用額、繰越金を極力少なくする努力をしてもらいたいこと。また事業効果測定などの評価も確実に行う。そういうことで町の振興発展に努めていただきたいことを所見として意見を申し上げます。

監査委員 角田隆紀
茂木恒二



体育館耐震補強工事を現地調査しました

平成22年度



歳出（主なもの）

- 企画費
- 岩島・坂上地区光ファイバー整備
- 環境衛生費
- 太陽光発電システム設置費補助金
- 林業費
- 有害鳥獣捕獲事業
- 防災費
- 全国瞬時警報システム整備事業
- 小学校施設整備費
- 原町小学校体育館新築事業
- 原町小学校太陽光パネル設置工事

一般会計

決算を問う

東中テニス コート取得

議員 今まで借りていた土地を購入するとのことだったが、中学校統合が進んでいる段階で必要があるのか。不動産鑑定をした段階で再度議会に相談し、判断するという答弁だったが、現時点では協議されていない。教育委員会、町長の考えを聞きたい。

最終的には議会の同意をいただき進めていきたい。

町長 予算計上時の経緯の認識が不足していた。中学校統合を考えると、そこに投資をしていくのは無理な事と思う。特に議会への協議不足は、こちらの落ち度であったと考えられる。今後このようなことの無いように考えていきたい。

議員 当時協議をしていくという答弁で可決の判断をしたので、ここまでできているが、経緯については重く受け止めてもらいたい。

議員 当時協議をしていくという答弁で可決の判断をしたので、ここまでできているが、経緯については重く受け止めてもらいたい。

教育長 当初予算でのやり取り部分の状況把握が足りず、認識不足の点についてお詫びいたします。

議員 当時協議をしていくという答弁で可決の判断をしたので、ここまでできているが、経緯については重く受け止めてもらいたい。

東村当時の懸案事項であり、町の財産である土地開発基金の用地確保を22年度で支払い手続きを済ませた。方向性は交換だが、

箱島農村公園用地部分の利用については、町が示しているので、支障が出る可能性もある。必要な土地を購入するのが常とう手段であると思う。この土地の事も含め、考え方を聞きたい。

町長 農村公園用地も未だ放置の状態であるが、地域住民の希望もある。この土地を活性化するために、住宅も含め、よい施設が来てもらえるように努力していきたい。

議員 等価交換ということで問題ないとの説明であったが、現地を見れば農村公園用地は、町の土地としては県道に一番近い場所、土地の鑑定が全体の土地を見たときの価値判断をしているのではないかとと思うが。

教育課長 不動産鑑定士に依頼して鑑定し、土地全体ではなく交換する土地を対象に行い、等価交換とした。

いた。このまま積み残していいのかという部分で、処理について、執行部で検討したいと思うが。

教育課長 給食費は法律上の解釈として、私法上の債権と考えている。これによると、民法による債権者の時効の援用か、町の権利放棄により欠損処分ができるかと考えている。債権者間の不公平等もある。整理をしながら行っていく。

平成22年度会計別決算額

会計名	歳入総額	歳出総額
一般会計	96億855万円	91億9,140万円
国民健康保険 特別会計	事業勘定	18億8,905万円
	施設勘定	8,503万円
老人保健特別会計	507万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億7,424万円	1億7,247万円
特別養護老人ホームいわびつ荘	2億7,502万円	2億6,693万円
介護保険特別会計	11億6,033万円	11億3,764万円
下水道事業特別会計	5億5,704万円	5億5,479万円
簡易水道特別会計	4,658万円	4,636万円
地域開発特別会計	7,251万円	7,214万円

水道事業

	収入	支出
収益的	1億9,077万円	1億8,848万円
資本的	3,209万円	1億4,592万円

資本的収支の差は

損益勘定留保資金(※)で補てん

※ 収益的収支のうち、減価償却費等の現金の支出を必要としない費用のことで、費用化して資本的収支の資金不足に充当することができる。

国民健康保険

事業勘定では、本年度も基金の取り崩しはなく運営されていましたが、収入未済額は6,171万6,834円で昨年より400万円ほど増えました。不安定な雇用、社会情勢を反映したものと思われます。

税務課との連携により徴収事務の適正化に努めるとともに、特定健診やガン検診の受診率向上により町民自らの健康管理意識啓発に努めて欲しいと要望しました。

施設勘定（国保診療所）では、診療収入が増加し人間ドックも好評です。

引き続き地域に密着した医療活動を行うよう要望いたしました。

後期高齢者医療

収入未済額が若干ありましたので、事務努力について要望いたしました。

介護保険

実質収支額は2,269万2,013円でした。介護保険介護給付費は1,976万3,276円取り崩し、年度末現在高は1億1,203万3,646円となり介護従事者処遇改善臨時特例基金も278万2,560円とり崩し、年度末現在高は68万8,453円となりました。

なお、65歳以上の被保険者の人口に占める割合は30.96%で高齢化と共に要介護認定、要支援認定者は年々増加しています。

特別養護老人ホーム いわびつ荘運営事業

歳入総額2億7,502万4,146円、歳出総額2億6,693万8,447円、実質収支額は808万5,699円でした。介護サービス関係費で賄えない分を、一般会計より繰り入れて施設運営しております。

一般会計からの繰入金は7,271万4千円でした。これは施設に義務づけられた、スプリンクラー設置工事を経済危機対策事業4,977万円でおこなったためです。例年の運営費は2,294万4千円で、一般会計からの繰り出し金は昨年より少なくなっており、努力がみられます。

老人保健

平成20年度で制度は終了しました。残務整理も本年度で終了し的確になされていきました。

地域開発事業

一般会計からの繰り入れは3,777万円になり、年度末の基金残高は1億394万円となりました。

宅地造成事業は今年度も岡崎・岩久保団地7区画が未販売でした。最終販売から5年が経過しており、今後は地価の下落を的確に判断し、価格や用途の見直しを行う販売努力が必要です。

下水道事業

公共下水道事業は平成15年度末に原町駅北地区の供用開始に始まり、2回の認可変更を経て平成22年度で計画区域全域が供用開始となりました。

浄化槽整備事業は、90基の新設を行いました。また農業集落排水事業では、マンホールポンプ遠隔監視装置更新工事を実施しました。

各事業とも接続率の向上を図り、新規加入に努めるとともに、公平性の見地からも引き続いて未納者対策に努め、成果のあがる対策を検討していく必要があります。

簡易水道

歳出のほとんどは、施設の維持管理に係る経常的な経費です。歳入では水道使用料の未収金が多く、収納率は94.3%となっています。引き続き未収金回収対策に努め、財源の確保を図る必要があります。

水道事業会計

営業収益は給水人口の減少に伴い、減収減益の状況で、使用料の未収金は前年度より増加し、調停額が前年度を落ち込む中では、未収金の率は前年度を上回っております。このような状況から引き続き未収金の回収対策に努め、財源確保を図る必要があります。

石綿セメント管の更新は多額の経費を要しますが、安定的な供給や、利用者の健康被害を防ぐ観点からも急ぐ必要があるとのことでした。

平成23年度 補正予算

会 計 名	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計	1 億 4,196 万円	85 億 6,115 万円
介護保険特別会計	812 万円	12 億 5,730 万円
下水道事業特別会計	1 億 2,124 万円	6 億 7,467 万円
簡易水道特別会計	300 万円	5,363 万円

一般会計（主なもの）

総務費

- ◎財政調整基金積立金追加 ……8,412 万円
- ◎防犯カメラ設置工事費 ……115 万円
（原町、郷原、矢倉、岩島の
JR 4 駅に防犯カメラを設置）
- ◎新エネルギー導入可能性調査費
（水力を使った発電） ……100 万円

衛生費

- ◎簡易放射線測定器 2 台購入 ……26 万円

農林水産業費

- ◎米の食味測定器購入 ……178 万円

教育費

- ◎坂上幼稚園擁壁改修工事費 ……300 万円

条例の改廃

◆町民センターが 廃止になります

町民センターは、街路事業による（仮称）吾妻大橋の建設に伴い、生活改善センター部分が取り壊しになります。現在、この部分はデイサービスセンターとして、町からの指定管理により、社会福祉協議会が運営していますが、指定期間が10月末で終了することに伴い廃止するものです。

◆デイサービス指定 管理が終了します

10月31日をもって町からの指定管理期間が満了することに伴い、条例から「東吾妻町デイスサービスセンター」を削るものです。

◆町民センター利用料 条例を廃止

◆脱税過料が改正

現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して、税制の整備を図る観点から、正当な理由なく個人住民税等の脱税に係る過料が、3万円から10万円になります。

その他の議案

◆町道の認定

ふれあいの郷駐車場内を通路として一般に供している部分です。

◆訴えの提起

原町字諏訪前一〇四四番一から一〇四九番十一まで

人 事

◆人権擁護委員候補者

任期満了（3期）に伴う次期候補者に、本多由巳子さん、新井ひろみさんの二名を適任と認めました。

健全化判断比率の 報告がありました

健全化判断比率	平成 21 年度	平成 22 年度
実質公債費比率	17.8 (25.0)	16.6 (25.0)
将来負担比率	155.1 (350.0)	120.6 (350.0)

実質公債費比率とは…借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標

将来負担比率とは…地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標

（ ）内は早期健全化比率



教育委員に 町田仁一氏

(原町：1期目)

阿部央輔氏の退任に伴い、町田仁一氏を選任することに同意しました。

町田氏は信用金庫に勤務の後、家業の美容室を継がれ現在に至っております。

大学生、高校生の保護者であり、人格も高潔、原町スケート場運営委員会の役員としても活躍されています。

任期・・・平成23年9月6日から

平成24年6月20日まで

(前任者の残任期間)

みなさんからの 請願

採択となりました

(総務建設常任委員会で審査)

町有地の無償貸与に関する請願

上之町区長 橋爪源一
紹介議員 山田信行

今定例会では、1件の請願を
所管の委員会で審査しました。
審査の結果が本会議で報告さ
れ、次のように決まりました。

町長より報告

2法人の平成22年度の経営状況報告がありました。

駅北土地区画整理組合

平成8年度より開始され、15年が経過しました。

現在の事業課題は、原町中学校東側地域の未施行地区の取り扱いです。検討した結果は、整理事業の施行区画の縮小で、具体的には原町小学校東側地区の除外という結論になり、計画変更に必要な手続や地権者との協議など取り組みを行ってきました。

平成22年度の主な事業は、規模縮小に必要な地区界を変更するための用地測量、換地変更業務、補償調査業務及び稲荷城・金井線の修正設計業務などです。平成22年度末において負債はなくなりました。

事業残は、原町小学校東側の稲荷城・金井線の道路を境として地区除外を行い、残された稲荷城・金井線の工事や換地設計、換地処分などが予定されており、平成25年度末まで、3カ年延伸を行いました。組合では平成25年度末の完成を目指していることなどの報告がありました。

(株) 岩櫃ふれあい公社

株式会社岩櫃ふれあい公社は、町が資本金の50%を出資し、平成6年3月に設立され、平成13年度までは、杉並区の保養施設の管理運営業務を受託、平成14年度からは敷地及び施設を使用貸借し、ホテル経営に移行、9期目となっております。

平成22年度の集客実績は2万7,173人でした。

事業収支関係において、売上高は1億9,754万2,309円でした。

純利益1,275万5,430円、当期末の未処理損失は6,429万4,601円となりました。

前期に比べ大幅な黒字となりましたが、未処理損失を考えると、まだまだ厳しい経営環境にあり、公社の計画達成と経常利益を確保するための経営努力を続けているとの報告がありました。

一般質問

町政を問う



須崎幸一議員

町の新エネルギー施策について 答 小水力発電施設の設置調査へ

問 バイオマスタウン構想におけるエネルギー利用
吾妻木質バイオマス発電所の営業運転開始により林地残材の活用として間伐材をチップ化して直接

答 現在、バイオマス推進協議会の林地残材活用推進分科会があり、そこで検討がされている。荒廃した森林整備に期待される間伐材利用

問 家畜排せつ物のエネルギーとしての利用の状況と促進にむけての取り組みは何か。

燃焼、発電利用を推進すべきであると考えられている。

でもあるので、これからは、間伐材をチップ化して発電燃料として活用が図れるように努めたい。

問 地元業者優先発注をして、町内業者の活性化を計ってどうか。
答 平成22年度から始めた、住宅新築・改築等補助金交付

制度（工事費の5%、最高限度額二十万円）は町内業者と規定。また、町が発注する一三〇万円以下の工事や修繕、五十万円以下の業務委託は、事前に登録してある名簿から選定している。町商工業経営資金利子補給率は特別措置として、50%から75%とし、地元企業育成を第一に考えている。

問 地域間交流について
現在杉並区と友好自治体協定・防災相互援助協定を締結しているが、この交流を地場産業を生かした、ビジネスチャンスとしてはどうか。
答 農産物については、区役所での朝市や、各支所での特産品販売を行い、昨年7月には「ふるさと交流市場」がオープンした。



美しい吾妻溪谷の景観

檀山・吾妻溪谷・榛名湖をはじめ、登山やウォーキングなどを楽しみ、吾妻荘・岩櫃温泉センターへの集客を目的とした取り組みを始めている。

今後は、これまでの交流に加え、区民・町民レベルでの交流を一層促すため、町内においては空家調査などもしている。

町内業者の育成について 答 地元企業育成を第一に考える



山田信行議員

地域間交流について

檀山・吾妻溪谷・榛名湖をはじめ、登山やウォーキングなどを楽しみ、吾妻荘・岩櫃温泉センターへの集客を目的とした取り組みを始めている。

今後は、これまでの交流に加え、区民・町民レベルでの交流を一層促すため、町内においては空家調査などもしている。



一場明夫議員

今後の町づくりを問う

答 総合的に検討

問

スポーツや文化をテーマにしたまちづくりをどのように考えているか。

答

町の14歳までの人口は平成11年度に比較して38%減少し、65歳以上の人口は5.5%増加している。生涯学習・生涯スポーツを通して、心身ともにたくましい子どもの育成や高齢者の健康・体



太陽光発電の促進に補助金制度

答

家畜排せつ物の堆肥化利用については多くの事業者が実施していますが、高度化利用としてのメタン発酵、炭化、利用については現在のところ進んでいない。情報の収集や分科会の開催など、今後の課題として促進にむけて努力したい。

太陽光発電及び小水力発電の推進

問

住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助制度の見直し検討について。

答

自然エネルギー利用の促進と意識高揚を図るために、補助金制度を設けている。

今年度、上限額を

問

「10万円」から「20万円」に改正をしたところである。

答

メガソーラー発電の実施に向けて、適した地域を調査したらどうか。

答

現状では、限られた財政の中で、早急に対応するのは難しい。今後の課題として、調査研究をしたい。

問

小河川や農業用水などを活用して小水力発電施設を各地域に設置したらどうか。

答

小水力発電施設の設定は、今年度調査を実施する予定である。調査結果に基づき、各地域に設置できるか検討したい。

答

平成21年9月より人事評価を試行中である。

問

スポーツや文化をテーマにしたまちづくりをどのように考えているか。

答

町の14歳までの人口は平成11年度に比較して38%減少し、65歳以上の人口は5.5%増加している。生涯学習・生涯スポーツを通して、心身ともにたくましい子どもの育成や高齢者の健康・体



10月16日に開催された「マウンテンバイク大会」

問

事業評価制度の確立と予算編成についてはどうか。

答

予算編成の仕組みの見直しを検討するため、昨年11月

行財政改革の取り組み

問

事業評価制度の確立と予算編成についてはどうか。

答

予算編成の仕組みの見直しを検討するため、昨年11月

問

人事評価制度等導入と職員給与の適正化の取り組みはどのようになっているか。

答

平成21年9月より人事評価を試行中である。また職員の給与は、地方公務員法第24条で職務給・均衡の原則、条例主義の原則と定められている。平成23年度から第2次行政改革大綱に「定員・給与の適正化」を重点項目と位置づけ、給与の適正化を行う予定である。

町政を問う

原発容認か？

答 原発は徐々に減らすべき



金澤 敏議員

問

7月26日の上毛新聞首長アンケートにおいて、町長は撤退には反対で、容認ととられる回答であった。自治体の長は何よりも住民の健康や安心・安全を守ることが最優先課題であり、町長判断には、その観点が抜け落ちていて納得できない。

答

アンケートでは、確かに原発撤退に対して反対と取れる掲載であった。○×式であり、誤解されやすい記事だった。

生活を持続するため

の最低限の電力確保が確認されたうえで、原発撤退には賛成だが、現状では更なる電力不足を招きかねないと考えた。

放射能汚染は由々しき問題で、脱原発の気運が高まっていることは良い事だと思ってい

問

簡易放射線測定器の対応は

原町保育所で0.5マイクロシーベルト

毎時の放射線量が観測されたが、その対応を伺いたい。

県が簡易放射線測定器を自治体に貸し出すとのことだが、保護者の安心のためにも、借りて測定し、情報を公開すべきと思うが。

答

町では6月21日に全ての保育所

の空間放射線量を測定し、基準値を下回っていることを確認した。

しかし、雨樋

付近では、原町と大戸保育所で0.5〜0.6マイクロシーベルト毎時ほどの数値の高い箇所が判明し、翌日表土を入れ替えたところ、0.1マイクロシーベルト毎時程に改善された。

町でも簡易放射線測定器の購入を計画し、必要に応じて放射線量の測定を実施したいと考えている。



保育所での放射線測定
雨樋付近では数値が高い

医療職を目指す人に給付型奨学金を

答 今後の検討課題



根津光儀議員

問

この町から医療従事者を輩出するため、給付型奨学金制度の設置を提案する。原町赤十字病院や医師会との連携を深めるため意思疎通をはかつて欲しい。

答

原町赤十字病院とは、町の保健

事業の委託など様々な分野で連携してきている。医師、看護師等不足により診療科目の減少が続いている事も認識している。医療従事者養成のための給付型奨学金制度は、今後の検討課題としていく。看護師不足は町として

問

第一次総合計画

「総合計画」は町政執行に当たり

も憂慮すべき事態と認識しているので、現行の奨学金をPRして行きたい。補助金は今後も継続し、意思疎通についても今後は努力していく。



耐震性も懸念される（役場庁舎）



橋爪英夫議員

庁舎建設計画の準備を進めるべきと思う 答 建設は喫緊の課題

岩櫃城跡の国指定史跡はどうか



問 答

補助金制度はあるのか。
制度はないが、旧合併特例事業

本年5月からは、行政改革推進本部でも、調査研究をすすめている。

問 答

建設基金の今後の計画は。

平成22年度末の基金残高は四、〇八四万円余であり、財政調整基金からも計画的に基金に積み立てて行きたい。

問 答

岩櫃城跡の国指定史跡への動き

どう位置づけているか。
総合計画は将来の目標を掲げ、今後の方向性を具体的に示すものと認識している。ぶれることなく、進行管理を適正に行っていくきたい。

岩櫃城跡の国指定は

問 答

町営日帰り温泉事業
温泉事業は運営改善の努力をしているが、運営費があ

るのか。
町営日帰り温泉事業
温泉事業は運営改善の努力をしているが、運営費があ

問 答

既存施設の有効利用方法は。
行政改革推進本部で検討を進めていき、より質の高い

債が利用でき、期間は合併後10年間と決まっているため、平成27年度中に完成する必要がある。

国指定まで3年から5年以内を目標に取り組んでいく。多くの意見を取り入れるため保存整備委員会（仮称）を立ち上げる。

問 答

国指定まで3年から5年以内を

が始まっていると聞くが現状を知りたい。史跡整備に当たっては町民の意見を取り入れて欲しい。

問 答

ふれあいの郷岩櫃温泉センター
及び食堂は、年間五五〇〇万円もの不足額が

町営施設の管理運営の効率化や指定管理者制度への移行に向けた検討を行ってきた。あづま桔梗館は榛名吾妻荘に続き、本年4月に指定管理者制度に移行した。質の高いサービスが期待される。

問 答

事業課を新設し、町営施設の管理運営の効率化や指定管理者制度への移行に向けた検討を行ってきた。あづま桔梗館は榛名吾妻荘に続き、本年4月に指定管理者制度に移行した。質の高いサービスが期待される。

平成21年4月、事業課を新設し、町営施設の管理運営の効率化や指定管理者制度への移行に向けた検討を行ってきた。あづま桔梗館は榛名吾妻荘に続き、本年4月に指定管理者制度に移行した。質の高いサービスが期待される。

群馬県や町独自の放射能、放射線量検査の結果はどうか、解説をつけて、

問 答

群馬県や町独自の放射能、放射線量検査の結果はどうか、解説をつけて、

放射線数値の公表は
群馬県や町独自の放射能、放射線量検査の結果はどうか、解説をつけて、

問 答

ふれあいの郷岩櫃温泉センター
及び食堂は、年間五五〇〇万円もの不足額が

町営施設の管理運営の効率化や指定管理者制度への移行に向けた検討を行ってきた。あづま桔梗館は榛名吾妻荘に続き、本年4月に指定管理者制度に移行した。質の高いサービスが期待される。

問 答

管理運営方法を
見直し、一定の改善効果も上がっているが、何よりも利用者の数の減少が経営に大きく影響している。今後は、岩櫃山登山者、旅行会社、バス会社主催のツアー客、群馬DC

平成21年5月議会で運営方法の改善や見直しを求める決議を行った。早急に対応すべきと思うが。

生じている。

平成21年5月議会で運営方法の改善や見直しを求める決議を行った。早急に対応すべきと思うが。

問 答

簡易測定器を借りて町独自の調査を行っている。また県に対して固定型モニタリングポスト設置を要望しているが、正しい数値を町民に報告したいと思っている。

町広報やホームページを使って町民に知らせて行くべきだと思うが。

メール配信をし町民に的確な情報を

答 導 入 に む け 検 討



青柳はるみ議員

問

情報を共有する
ことであらゆる
場面での協働の町がさ
らに築けると思う。今
回の大震災では防災無
線と共にメールが繋が
りやすく、輪番停電で
は同じ町内であつても
時間が違ったためメー
ル配信の正確なお知ら
せが大いに役立ったと
いう。

答

情報提供として、
多くの自治体で
導入している的確な方
法であることは認識し
ている。大震災を契機

として町民の安心、安
全をまもる防災体制の
強化は益々重要となっ
てきているので、導入
に向けて検討していき
たい。

町営住宅の入居 基準の見直しを

問

『若い世帯が増
えてほしい』町
長がいつも言っている
ことだ。しかし、若い
世帯で子供を生み育て
るときは共働きはでき
ない。そのため収入が
低く、入居基準値に達
せない場合が生じる。

保証人を複数つけると
かして、当町に住む意
思のある若い世帯を受
け入れるようにすべき
と思う。また空き部屋

答

「あづま地域定
住促進住宅の入
居者の資格」について
若者向けにグレードア
ップした住宅として、
平成17年度に建設。起
債の償還期間が平成30
年までとなっている。
起債償還が終了した後、
収入基準及び家賃につ
いて検討していきたい。
空き部屋の状況は、本
年4月から1戸あるが、
過去に6ヵ月をこえる
空きはなかった。



箱島の定住促進住宅

委員会の動き

文教厚生常任委員会

7月4日

原町赤十字病院視察

委員会室において、
高野事務長及び2名の
事務職員に出席してい
ただき、病院の現状、
診療科目の減少、医師
確保の困難さ等の説明
を聞き、意見交換しま

した。

次に日赤病院に移り、
町からの施設等整備費
補助金で購入した医療
機器を確認しました。
その後、地下にある耐
震設備等現地視察をし
ました。

9月8日

社会福祉協議会視察

湯本会長、局長出席
のもと、川戸の福祉協
議会及び、デイサービ
ス用地を視察しました。
(仮称)吾妻大橋の橋
脚部分に当たり、移転
新築予定のデイサービ
ス用地が町有地のため
場所の確認と説明を受
けました。



デイサービスセンターの用地
などを確認しました。

ハッ場ダム対策特別委員会

9月9日、委員会を開催しました。

調査事項では、県道林岩下線の一部供用開始、6月29日、7月19日、8月29日、ダム検証の検討、幹事会が3回開催されたこと。町のダム対策協議会で「ハッ場ダム本体工事

建設工事の早期着工を求める決議」が議決され、これを持って議決文を国土交通省へ提出してきたことなどが報告されました。

― 国関係 ―

佐々木所長より、3回の幹事会の内容について情報提供がありま

した。続いて渡辺事業対策官より、東吾妻町関連事業の全体的な進捗状況について報告がありました。

― 県関係 ―

道路関係では、国道145号線ハッ場バイパスの松谷交差点から、雁ヶ沢交差点まで、暫定踏切を設置し、供用を目指す。また、土地改良事業は、松谷地区を23年度事業計画、及び事業採択、27年度完成を目指したいとの説明がありました。

― 町関係 ―

4月から8月までの天狗の湯運営状況は、目標より13%多く、隣のふれあい公園は、8月25日に入札を行い、議会の承認を得て工事に入る旨の説明がありました。また、十二沢パーキングは敷地造成工事が発注になりました。ダム下流域振興検討会の設置、松谷六合線については、地元説明会での意見を踏まえ、今後さらに検討するとの説明を受けました。

行財政改革推進特別委員会

9月9日、委員会を開催しました。

第2次行政改革大綱並びに実施計画が4月から動き出したことに伴い、町の行政改革推進本部の説明を受けた後、質疑を行いました。以下、主な意見・答弁

を報告します。

- ①組織機構の見直しで、2回の人事異動で弊害が出ていないかとの意見がありました。
- ②団体事務の見直しは、観光協会を商工会に移す方向とのことです。
- ③職員給与の見直しは、

県平均を目指し、12月議会に提案できるよう努力しているとのこと。

- ④公共施設のあり方検討委員会は、現在新たに発足していないことが確認されました。
- ⑤役場庁舎建設は、候

補地、面積、期限等の検討に入ったとのこと。

今後、町と議会が連携して、行政改革大綱の目指すべき姿を早く具体化するように、取り組んでいくことが求められています。

ハッ場バイパス
供用開始に向け
暫定踏切を設置
します。

(松谷地区)



南相馬市へ

復興支援調査

7月12日

福島県南相馬市被災
見舞い及び被災地復興
支援調査を行いました。

市役所庁舎で見舞金
贈呈式、その後、被災
経過及び現況調査の説
明を受け、被災地現場
を視察しました。

現地を見て、初めて
想像を絶する大地震に
よる津波災害であつた
と実感しました。

現在、復興・復旧に
向けて、市では懸命に
取り組んでいます。が、
原発事故の影響が復興
の大きな障害になつて
いることもうかがいま
す。

私たち議会としてで
きることは何か、深く
考えさせられました。
これからも南相馬市
のために役に立つこと
があれば、努力したい
と思います。

津波で大破した建物



放射線量測定器



がれき撤去も課題



第4回臨時会 (8月3日)

○人事

固定資産評価員 佐藤喜知雄さん
(税務会計課長 7月1日より)

○補正予算

上下水道統合システム更新による債務負担行為補正
平成23年度から6年間限度額 1,489万7千円

○物品購入契約の締結

小・中学校図書整備事業

町内の小中学校に8,400冊の図書を購入します。

契約金額＝1,506万7,500円

契約の相手方＝有限会社 川村書店

代表取締役 川村厚夫

新議員研修会

6月29日

群馬県市町村議会主

催で「地方議会の制度

と運営について」と題

し、野村稔氏の講演で

した。

地方議会に関するこ

となどについて18項目

にわたる講習で、非常

に勉強になりました。

また、このような機

会はなるべく多くあつ

てもいいと感じました。

特に印象に残ったの

は、議員の立場とはど

ういうものなのか、と

いうことで、講師が丁

寧に説明してくれまし

た。

また、本会議につい

ては言論主義であり、

読むのではなく話す、

現物の持参は最小限と

いうことがある、など

でした。

議会活動が続けてい

く上で、研修したこと

を頭に置き、これから

の活動を続けていきま

いと思っています。

議 案 の 審 議 結 果

議案名等	議員名簿	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
							菅谷光重	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	山田信行	水出英治	轟徳三	茂木恒二	金澤敏	青柳はるみ	須崎幸一	浦野政衛	一場明夫	橋爪英夫	
第 4 回 臨時会 平成23年8月3日																					
固定資産評価員の選任		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8/3
水道事業会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8/3
物品購入契約の締結		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8/3
第 3 回 定例会 平成23年9月5日～15日																					
人権擁護委員候補者の推薦		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/5
人権擁護委員候補者の推薦		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/5
教育委員会委員の任命		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/5
一般会計歳入歳出決算認定		14	-	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	9/14
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
老人保健特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
特別養護老人ホームいづみ荘運営事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
介護保険特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
下水道事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
簡易水道特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
水道事業決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
町民センター設置及び管理に関する条例廃止		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
町民センター利用料条例廃止		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
通所介護施設の設置及び管理に関する条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
税条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
平成 23年度一般会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
平成 23年度介護保険特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
平成 23年度下水道事業特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
平成 23年度簡易水道特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
町道路線の認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
訴えの提起		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14
工事請負契約の締結		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/14

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席
議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。(議長 1番 菅谷光重)
※…地方自治法第117条により、本人除斥。

議会報告会を開催します



- ★11月14日(月)午後7時開会
あづま農村環境改善センター 多目的ホール
- ★11月15日(火)午後7時開会
太田公民館 大会議室
- ★11月17日(木)午後7時開会
岩島公民館 大会議室
- ★11月18日(金)午後7時開会
中央公民館 相談室
- ★11月21日(月)午後7時開会
坂上公民館 大会議室

みなさん
ご参加
ください

まちの声

『「盆踊り」に参加して 楽しみに』



片桐 定子さん
(原町：主婦)

今年から8月14日～15日の2日間にわたり、原町駅北を会場とする盆踊りが22年ぶりに復活し、多くの参加者と来場者を迎え盛況に開催され、楽しみな行事が一つ増えました。

会場の駅北ロータリーに浴衣を着た小さい子供さんが、踊りの輪の周りを飛び回る姿は、見ていてとてもほほえましい光景で地域力の復活になればと思います。会場に足を運んでくれた大勢の皆様が、盆提灯の明かりの下で見よう見まねで手足を動かし、踊る姿はとても楽しそうでした。

老人会・太田・岩島の踊る会の皆様や、吾東・原町両婦人会と沢山の町民皆様、そして南相馬の方々の協力をいただき、開催できました事、感謝を申し上げたいと思います。

当日、会場に人が集まるかどうか心配でしたが、沢山の町民の皆様方が足を運んで、盆おどりを楽しんでくれました。東吾妻盆おどりが、来年、そしてその次の年も、毎年開催されることを楽しみにしております。



玉入れ準優勝に輝く



さわやかな秋晴れの中、第50回郡民体育祭が、東吾妻町原町中学校を主会場に9月25日開催されました。
女性チーム・議員・教育委員・町三役による玉入れは、準優勝することができました。
議員・教育委員・町



三役でのターゲツトバードゴルフは、健闘奮わず、5位となりました。
当町を主会場として、一致団結し競技に気持ち良い汗を流すとともに、郡内の仲間と親睦を深めました。



編集後記

高温と降雨が繰り返された夏が過ぎ、九月には台風12号15号と立て続けに本州に上陸し当町にも大きな被害をもたらしました。議会も被害調査をして復旧に向けて活動をしています。

九月定例会では平成22年度決算が認定されました。編集しながら、前号から今号までの間の議会の活動が様々に思い返されました。編集会議の中で感じたことは、私たちは、千年に一度の災害、人類史の中の転換点に立っているということ。後の人々の検証に耐える行動をしなくてはならないと、深く感じました。

(根津光儀)